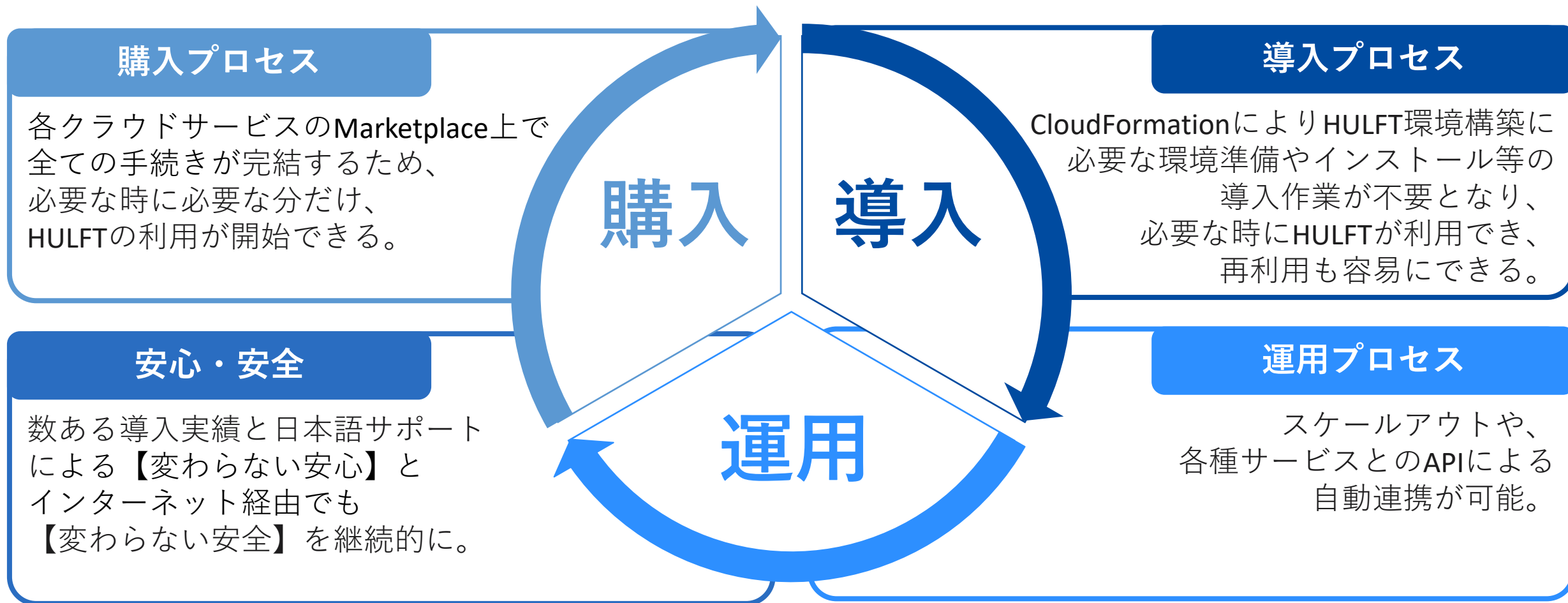


# HULFT10 for Container Services 紹介資料

株式会社セゾンテクノロジー

# HULFT10 for Container Services とは

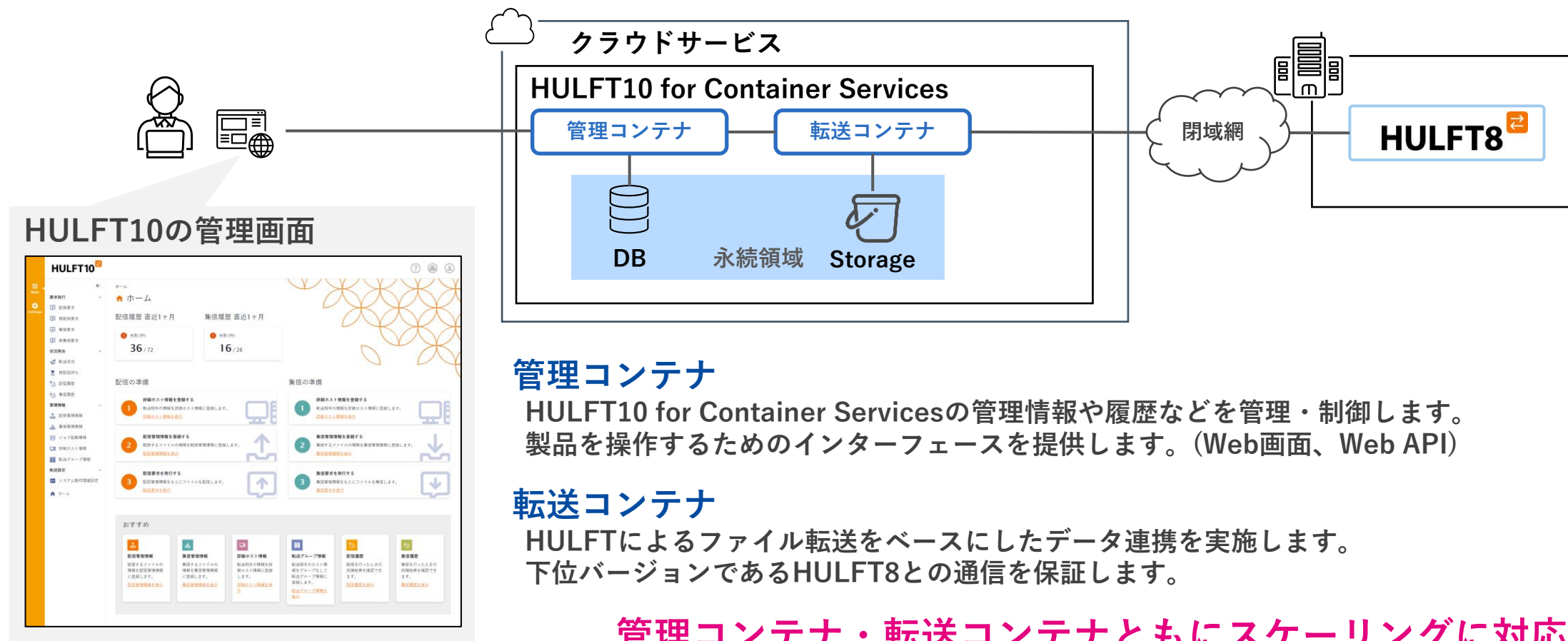
## クラウドネイティブなHULFTが新たに提供する価値



一連のプロセス変化を後押しに、ビジネススピードに追隨するHULFTが新たな価値を提供します。

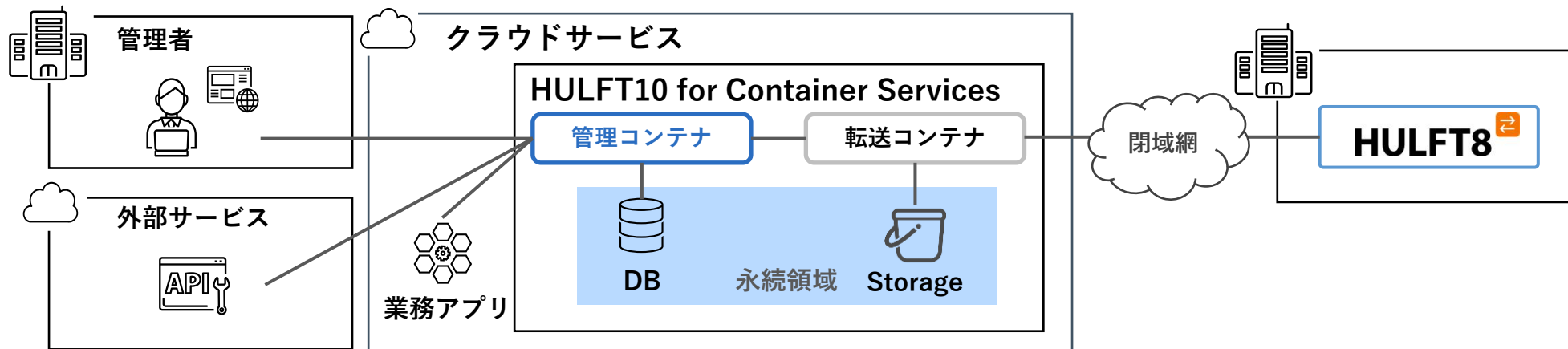
# HULFT10 for Container Servicesとは

## コンテナオーケストレーション技術を採用したHULFT



※ 転送処理には、管理コンテナと転送コンテナそれぞれ1台以上の起動が必要です。

- HULFTの管理情報や履歴などを管理します。APIによるジョブ連携や、転送コンテナの制御等を管理するWeb画面を提供します。



## ■ 管理コンテナの特長

### GUIによる設定管理

ブラウザベースの管理画面から、HULFTの設定や管理ができます。

### API連携

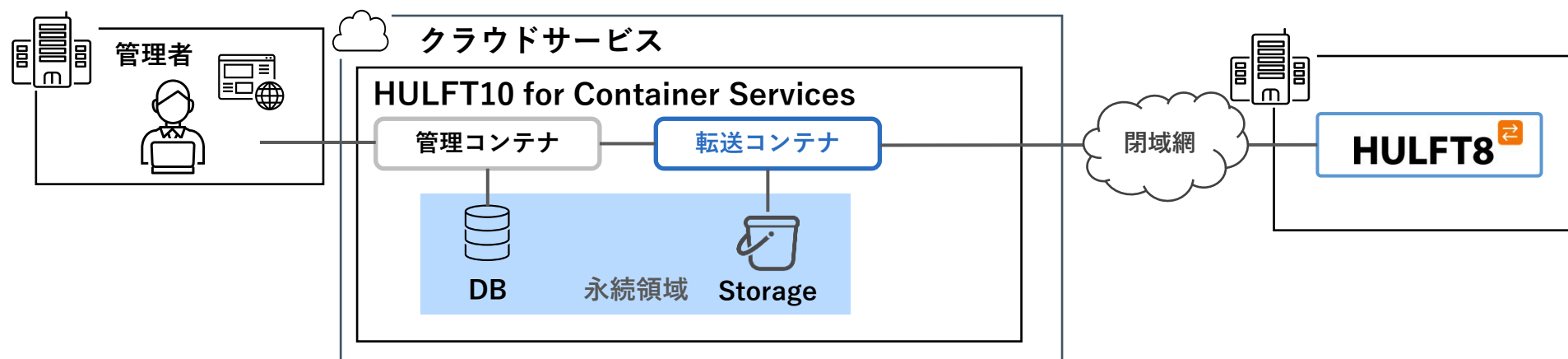
外部サービスや業務アプリとの連携はAPIで簡単に接続可能です。

### 設定やログの外部保管

管理情報や履歴は、コンテナから独立した永続領域に保存され、別コンテナへの引継ぎやバックアップが容易です。

# 転送コンテナ

- HULFTによるファイル転送をベースにしたデータ連携をします。



## ■ 転送コンテナの特長

### 負荷への耐性

転送負荷に応じて、自動で転送コンテナが起動するため、必要なリソースを柔軟に確保します。

### 障害への耐性

万が一、障害が発生した場合、別コンテナが自動起動するため、サービスの可用性と業務継続性を確保します。

### HULFTとの通信可能

HULFT8との通信を保証しているため、HULFT連携を利用したデータ連携基盤を構築可能です。

# HULFT10 for Container Servicesの操作

## 製品操作のインターフェースはWeb画面とWeb API



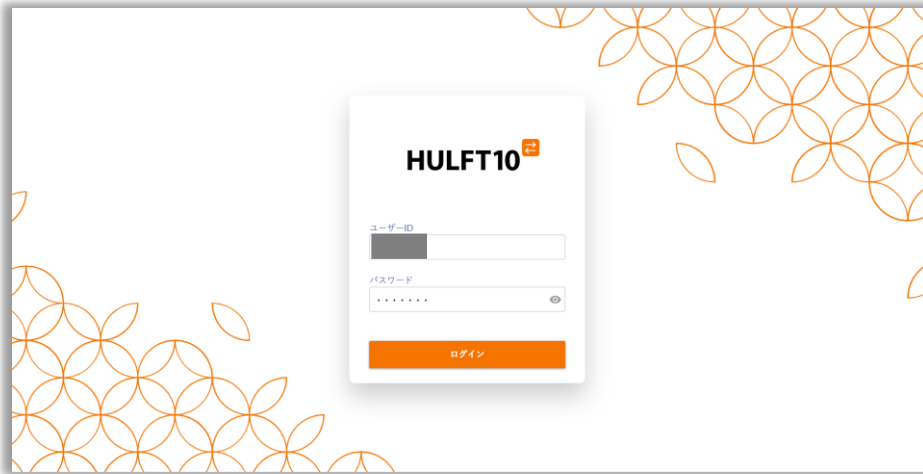
※画面イメージは開発中のものです

### Web API

- ログイン
- ログアウト
- 配信要求
- 再配信要求
- 送信要求
- 再集信要求

### Web画面

HULFTブランドデザイン  
の採用でイメージを一新  
UI/UXも大幅に改善



## 集配信エラー履歴

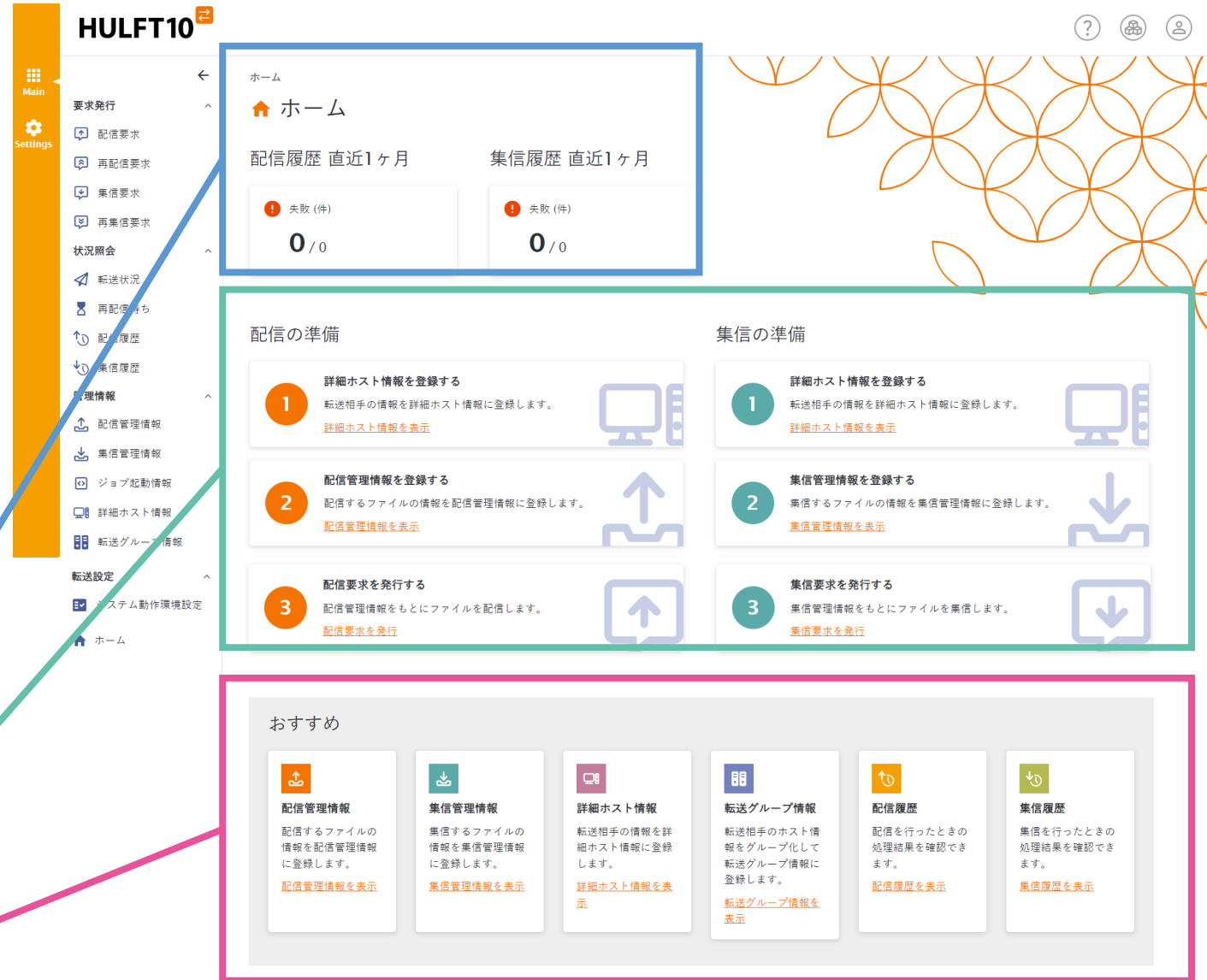
管理画面ログイン時に、ファイル転送時の異常を即座に把握できる月次集計を掲載します。

## 簡易マニュアル

詳細マニュアルを見ずに最低限の設定ができるよう設定順の概略を掲載します。

## おすすめ

HULFT管理でよく使われるおすすめページのリンクを掲載します。



# 機能説明

## 配信要求

指定したファイルを「自ホスト」から「相手ホスト」に転送すること。



## 再配信要求

「配信要求」実行時に、ネットワークトラブルなどでファイルが転送されなかった場合、同一のファイル転送を再度実行すること。



要求発行は、管理画面だけでなくWebAPIからも実行できるため、外部サービスとの業務連携が容易。

## 集信要求

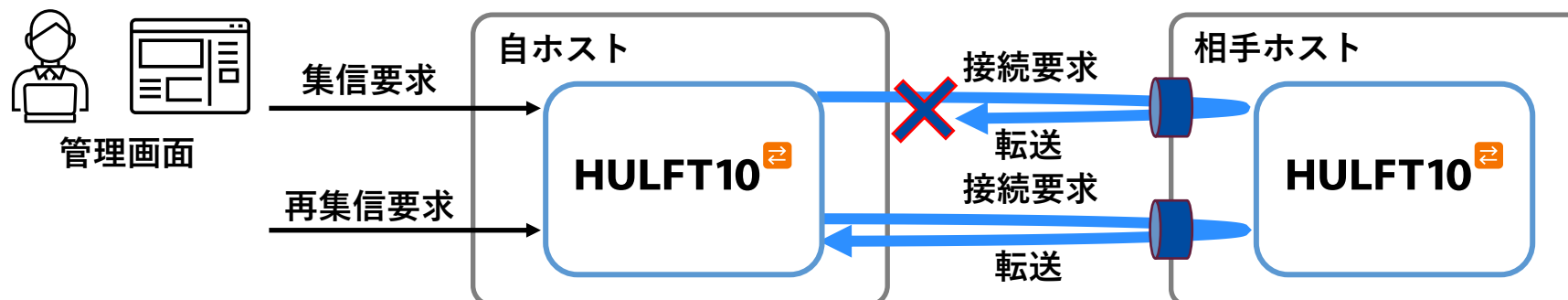
集信側ホストからファイル転送を要求します。**集信側のポート公開不要**でファイル取得が可能です。



※HULFT8機能の「送信要求」とは異なります。

## 再集信要求

集信要求の後に、ネットワークのトラブルなどでファイルが転送されなかった場合、同一のファイル転送を再度実行するように、相手ホストのHULFTに要求します。



配信側である相手側ホストが「**集信側のIP情報を知らずポート開放不要**」で集信可能。

## クラウドストレージ連携

クラウドストレージであるAmazon S3に格納されているファイルのダウンロードやアップロードが行えます。

※ クラウドストレージオプションはWindows/Linuxのみとなり、UNIX版は未対応です。

50バイト以内。英大文字数字、または"\_"のみ。

表示名 必須

ヘルプアイコン ?

[集配信管理情報] > [集配信ファイル] > [集配信ファイル名] の横にある「ヘルプアイコン ?」をクリックすることで、Amazon S3上にあるファイル名を指定する場合のパスが表示されます。また、コピーして貼り付けることもできます。

クラウドストレージを指定する場合は以下のように入力してください。  
オブジェクトの名称はAWSの仕様に従ってください。

Amazon S3 s3://<bucket>/<object>

配信ファイル名 必須

s3://hulft10-bucket01/send/test01.txt

4085バイト以内。\${HULFT\_転送変数名}形式の転送変数を指定可能。

基本  
配信ファイル  
通信  
コード変換  
ジョブ  
セキュリティ  
管理情報の権限

■ オブジェクトストレージの機能制限：[https://www.hulft.com/help/ja-jp/HULFT-V10/CONT-ADM/Content/HULFT\\_ADM\\_CONT/operational\\_notes/Object\\_RestrictionMatter.htm](https://www.hulft.com/help/ja-jp/HULFT-V10/CONT-ADM/Content/HULFT_ADM_CONT/operational_notes/Object_RestrictionMatter.htm)

Amazon S3 に配置が可能なため、大容量のデータへのアクセスの容易さとコストの削減を実現。

## ■ファイル転送に関連する情報を集約

管理画面から実行中の集配信処理のステータスと、集配信の履歴を一覧で確認することが出来ます。

### 転送状況

実行中の集配信処理を一覧で表示します。一覧から**転送処理の中止**を行うことも可能です。

### 再配信待ち

配信処理中に何らかの問題が発生し、配信が中断した場合、「再配信待ち」状態となります。それらの状態を**一覧**として表示します。また、**詳細**から「**再配信処理**」を**要求**することが可能です。

#### 【一覧】



#### 【詳細】



配信履歴

配信要求・再配信要求を行ったときの  
処理結果（履歴情報）を一覧表示します。

集信履歴

集信要求・再集信要求を行ったときの  
処理結果（履歴情報）を一覧表示します。

【詳細】

ホーム > Main > 状況照会 > 配信履歴 > LOOPBACK\_ID\_TEST

LOOPBACK\_ID\_TEST

失敗

集信側ホストで異常が発生した可能性があります。集信履歴を確認してください。詳細コードは集信側の完了コードです。

配信

基本

ファイルID  
LOOPBACK\_ID\_TEST

表示名  
エラー検証

受付日時  
2023/11/13 16:18:50

開始日時  
2023/11/13 16:18:50

終了日時  
2023/11/13 16:18:51

完了コード  
250

詳細コード  
205

ファイル名  
/mnt/efs1/snd/test.txt

転送タイプ  
バイナリ

【一覧】

HULFT10

ホーム > Main > 状況照会 > 配信履歴

配信履歴

1 - 74 of 74 < 1 / 1 > 行数: 100

すべての絞り込みを解除

| <input type="checkbox"/> | ステータス | ファイルID           | 表示名          | 開始日時                | 終了日時                |
|--------------------------|-------|------------------|--------------|---------------------|---------------------|
| <input type="checkbox"/> | 失敗    | LOOPBACK_ID_TEST | エラー検証        | 2023/11/13 16:18:50 | 2023/11/13 16:18:51 |
| <input type="checkbox"/> | 成功    | LOOPBACK_ID      | ループバックファイルID | 2023/11/13 16:14:18 | 2023/11/13 16:14:18 |
| <input type="checkbox"/> | 失敗    | LOOPBACK_ID_TEST | エラー検証        | 2023/11/13 16:12:11 | 2023/11/13 16:12:11 |
| <input type="checkbox"/> | 成功    | LOOPBACK_ID      | ループバックファイルID | 2023/11/13 15:07:45 | 2023/11/13 15:07:46 |
| <input type="checkbox"/> | 失敗    | LOOPBACK_ID_TEST | エラー検証        | 2023/11/10 17:25:31 | 2023/11/10 17:25:32 |
| <input type="checkbox"/> | 失敗    | LOOPBACK_ID_TEST | エラー検証        | 2023/11/10 17:24:30 | 2023/11/10 17:24:30 |
| <input type="checkbox"/> | 成功    | LOOPBACK_ID      | ループバックファイルID | 2023/11/10 17:03:23 | 2023/11/10 17:03:23 |

HULFT10

ホーム > Main > 状況照会 > 集信履歴

集信履歴

1 - 38 of 38 < 1 / 1 > 行数: 100

すべての絞り込みを解除

| <input type="checkbox"/> | ステータス | ファイルID           | 表示名          | 開始日時                | 終了日時                |
|--------------------------|-------|------------------|--------------|---------------------|---------------------|
| <input type="checkbox"/> | 成功    | RECEIVE_EX       | CLI転送練習      | 2023/11/13 16:21:50 | 2023/11/13 16:21:51 |
| <input type="checkbox"/> | 成功    | LOOPBACK_ID_TEST | エラー検証        | 2023/11/13 16:18:50 | 2023/11/13 16:18:50 |
| <input type="checkbox"/> | 成功    | LOOPBACK_ID      | ループバックファイルID | 2023/11/13 16:14:18 | 2023/11/13 16:14:18 |
| <input type="checkbox"/> | 失敗    | LOOPBACK_ID_TEST | エラー検証        | 2023/11/13 16:12:11 | 2023/11/13 16:12:11 |
| <input type="checkbox"/> | 成功    | LOOPBACK_ID      | ループバックファイルID | 2023/11/13 15:07:45 | 2023/11/13 15:07:45 |
| <input type="checkbox"/> | 失敗    | LOOPBACK_ID_TEST | エラー検証        | 2023/11/10 17:25:31 | 2023/11/10 17:25:32 |
| <input type="checkbox"/> | 失敗    | LOOPBACK_ID_TEST | エラー検証        | 2023/11/10 17:24:30 | 2023/11/10 17:24:30 |



HULFTによる集配信の実行に必要な情報を「管理情報」として設定します。ファイル転送では配信側ホストと集信側ホストのどちらで動作するかで使用する「管理情報」が異なります。

### 配信管理情報

配信ファイルの属性や転送条件などの情報を設定します。

[配信側ホスト](#)[集信側ホスト](#)

### 集信管理情報

集信ファイルの属性や転送条件などの情報を設定します。

[配信側ホスト](#)[集信側ホスト](#)

### ジョブ起動情報

ファイル転送の前後に実行したいジョブを設定します。

[配信側ホスト](#)[集信側ホスト](#)

### 詳細ホスト情報

相手ホストの情報を設定します。

[配信側ホスト](#)[集信側ホスト](#)

### 転送グループ情報

転送先のホスト名を登録します。

[配信側ホスト](#)[集信側ホスト](#)



管理情報に対して、操作権限が許可された「役割」の設定ができます。  
役割に応じた操作権限が許可されており、各管理情報に対する権限制御が可能です。

【管理情報に設定可能な役割】

| 役割名 | 操作権限                         |
|-----|------------------------------|
| 所有者 | 管理情報の所有者。管理情報に対してすべての操作が可能。  |
| 更新者 | 管理情報の情報を更新可能なユーザー。           |
| 実行者 | 管理情報を使用して、転送を開始することができるユーザー。 |
| 閲覧者 | 管理情報を参照できるユーザー。              |
| 監視者 | 履歴のみが参照できるユーザー。              |

【操作権限】

| 役割名 | 更新 | 削除 | 参照 | 履歴参照 | 要求発行 |
|-----|----|----|----|------|------|
| 所有者 | ✓  | ✓  | ✓  | ✓    | ✓    |
| 更新者 | ✓  |    | ✓  | ✓    | ✓    |
| 実行者 |    |    | ✓  | ✓    | ✓    |
| 閲覧者 |    |    | ✓  | ✓    |      |
| 監視者 |    |    |    | ✓    |      |

管理情報の権限

総件数：1 ユーザーグループ件数：0 ユーザー件数：1

ユーザーグループ、およびユーザーを合わせて100件まで登録可能です。

[ユーザーグループを追加](#) [ユーザーを追加](#)

☐ ユーザーグループID/ユーザーID ⇅ 管理情報の権限 ⇅

☐ 所有者

所有者  
更新者  
実行者  
閲覧者  
監視者

[保存](#) [一覧に戻る](#)

ホーム > Main > 管理情報 > 配信管理情報

📶 配信管理情報

1 - 2 of 2 < 1 / 1 > 行数： 100 ▾

☐ ファイルID ▾ 表示名 ▾

☐ LOOPBACK\_ID ループバックファイルID

☐ SND\_FILE snd\_file

集配信管理情報に対して、  
ユーザーグループ/ユーザーID  
毎の操作権限を設定できます。

※P.23 「操作権限について」も併せてご参照ください。

## ■データ転送全般の設定を行います。

### システム動作環境設定

HULFTシステムの動作環境や、配信処理および集信処理に必要な項目について設定します。

設定できる項目は下記の通りです。

#### ■ 基本

自ホスト名や使用する暗号化方式などの基本的な設定を行います。

#### ■ エラー管理

集配信時のエラーに関する動きを設定します。

#### ■ コード変換

文字コードに関する項目の更新を行います。

#### ■ Web API

要求発行の動的パラメーター指定を有効にするか選択します。

システム全般に関わる設定を 1 画面で完結設定ができるため、設定の把握や更新が容易。

SAISON  
TECHNOLOGY

ユーザー管理

ユーザーIDの設定やパスワードの初期化に加え、ユーザーIDに対して役割に応じた権限の設定ができます。  
適切な権限付与を行うことにより、誤操作によるセキュリティ事故、不正アクセス等を防止することが可能です。

【ユーザーIDに設定可能な役割】 ※ P.23 「操作権限について」も併せてご参照ください。

| 役割名    | 操作権限                                                                    |
|--------|-------------------------------------------------------------------------|
| 管理者    | ・ 全ての操作について制限なしに実施可能                                                    |
| 転送管理者  | ・ 管理情報の新規作成<br>・ ユーザーグループに関する操作<br>・ システム動作環境設定の更新<br>・ 管理情報の権限で指定された操作 |
| 転送コンテナ | ・ 全ての管理情報の読み込み<br>・ 履歴の書き込み                                             |
| メンバー   | ・ 管理情報の権限で指定された範囲での操作                                                   |



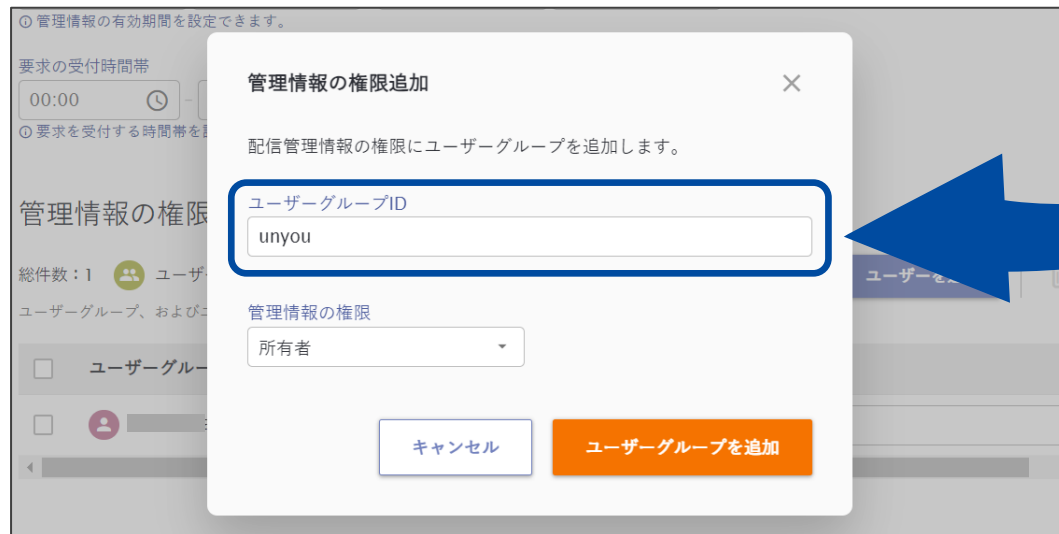
ユーザーIDごとに権限を振り分けることが出来るため、よりセキュアな運用が可能。

### ユーザーグループ管理

ユーザーグループを作成し、各ユーザーIDをまとめて管理します。 また、「管理情報の権限追加」では、ユーザーグループIDごとの追加が可能なため、役割に応じたグループ単位での権限管理が可能です。

#### 【設定できるユーザー権限】

「管理者」と「転送管理者」のみ設定可能です。

[管理者](#)[転送管理者](#)[メンバー](#)[転送コンテナ](#)

ユーザーグループ単位での管理情報の権限付与により、業務に応じた役割を複数のユーザーに設定可能。

SAISON  
TECHNOLOGY

ユーザー認証設定

ユーザー認証方式を選択します。

【選択可能な認証方式】

| ユーザー認証方式               | 説明                                        |
|------------------------|-------------------------------------------|
| パスワード                  | ユーザ名/パスワードでログインします。                       |
| SAML                   | シングルサインオン (SSO) の一つである SAML でユーザー認証を行います。 |
| Open ID Connect (OIDC) | シングルサインオン (SSO) の一つである OIDC でユーザー認証を行います。 |



【設定できるユーザー権限】

「管理者」のみ、ユーザー認証方式の設定が可能です。

- 管理者
- 転送管理者
- メンバー
- 転送コンテナ

認証方式を選択できるため、様々なセキュリティ要件に対応可能。

## プロフィール

ログインしたユーザーアカウントIDの表示名、メールアドレスやパスワード更新と初期化ができます。

## 環境設定

管理画面の自動更新間隔を変更可能です。

### ■ プロファイル画面

ユーザー設定

ユーザー管理

ユーザーグループ管理

ユーザー認証設定

個人設定

プロフィール

環境設定

製品情報

この製品について

ホーム

プロフィール

更新日時：2024/03/25 10:00:57    更新ユーザー：system

基本

ユーザーID  
root

表示名 必須  
system auto register  
1024文字以内。

メールアドレス 必須  
  
Email形式で入力。

ユーザーの権限  
管理者

コンテンツ  
基本

保存    編集を破棄    一覧に戻る

### ■ 環境設定画面

ユーザー設定

ユーザー管理

ユーザーグループ管理

ユーザー認証設定

個人設定

プロフィール

環境設定

製品情報

この製品について

ホーム

ホーム > Settings > 個人設定 > 環境設定

環境設定

通信

自動更新間隔 (分) 必須  
0  
0-60の値。

保存    編集を破棄

- HULFT10では、ファイル転送を行うために必要なWebAPIが用意されています。

## 認証

ログイン認証等に必要なWebAPI

・ ログイン（パスワード）

・ ログアウト

・ 認証方式取得

## 要求発行

HULFTによるファイル転送に必要なWebAPI

・ 配信要求

・ 再配信要求

・ 集信要求

・ 再集信要求

※exeコマンドの提供はありません。

※詳細は、[公式マニュアル](#)をご参照ください。

- HULFT10では、ジョブ起動としてWebAPI発行機能があります。

## ジョブ起動情報

配信管理情報や、集信管理情報に紐づくジョブ起動情報をWebAPIとして設定し、外部サービスとの業務連携を可能とします。

【配信】 配信前ジョブ、正常時ジョブ、異常時ジョブ

【集信】 正常時ジョブ、異常時ジョブ

画面上部にあるヘルプアイコンをクリックすることで **HULFT10 マニュアル** のトップページに遷移します。



# Fargate版とEC2版の比較

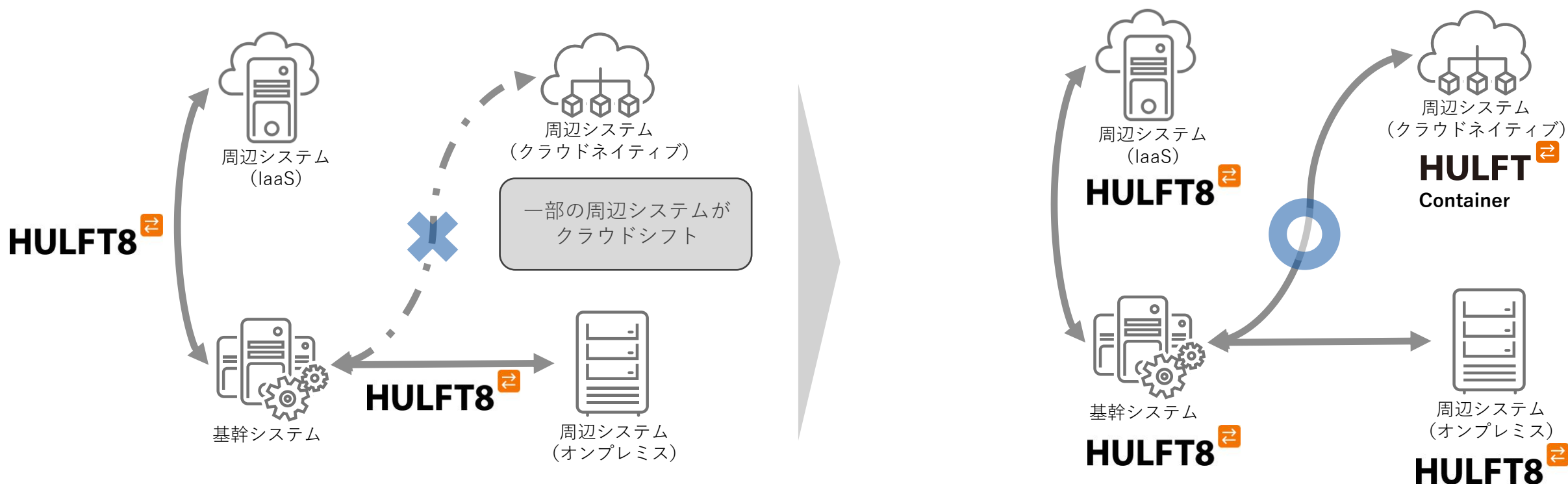
# Fargate版とEC2版の比較

## ■HULFT10 for Container Services（Fargate）とHULFT10 for Container Services（EC2）の比較

|       | Fargate                                                      | EC2                                                                      |
|-------|--------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 稼働コスト | <p>コンテナが稼働していないときはコスト加算されない。<br/>ECSの稼働コストはEC2版の約1.2倍程度。</p> | <p>コンテナが稼働していないときも<br/>EC2の稼働コストは加算される。<br/>Fargateと比較して単価／稼働時間が小さい。</p> |
| 運用性   | <p>フルマネージドで運用負荷軽減が期待できる。<br/>Dockerコマンドでコンテナの内部を調査できない。</p>  | <p>EC2部分はユーザー管理で運用負荷軽減は限定的。<br/>DockerコマンドやOSコマンドを使った調査等が可能。</p>         |
| 性能    | <p>フルマネージドでリソースのスケールアウト可能。</p>                               | <p>コンテナ数の増減は自動でスケールアウト可能。<br/>事前にEC2リソースの設計が必要。</p>                      |
| 実績    | <p>2024年6月リリース</p>                                           | <p>2024年2月初期リリース<br/>Fargate版よりリリースしてからの期間が長い。</p>                       |

# 想定ユースケース

# ①クラウドシフトした周辺システムと基幹システムの連携



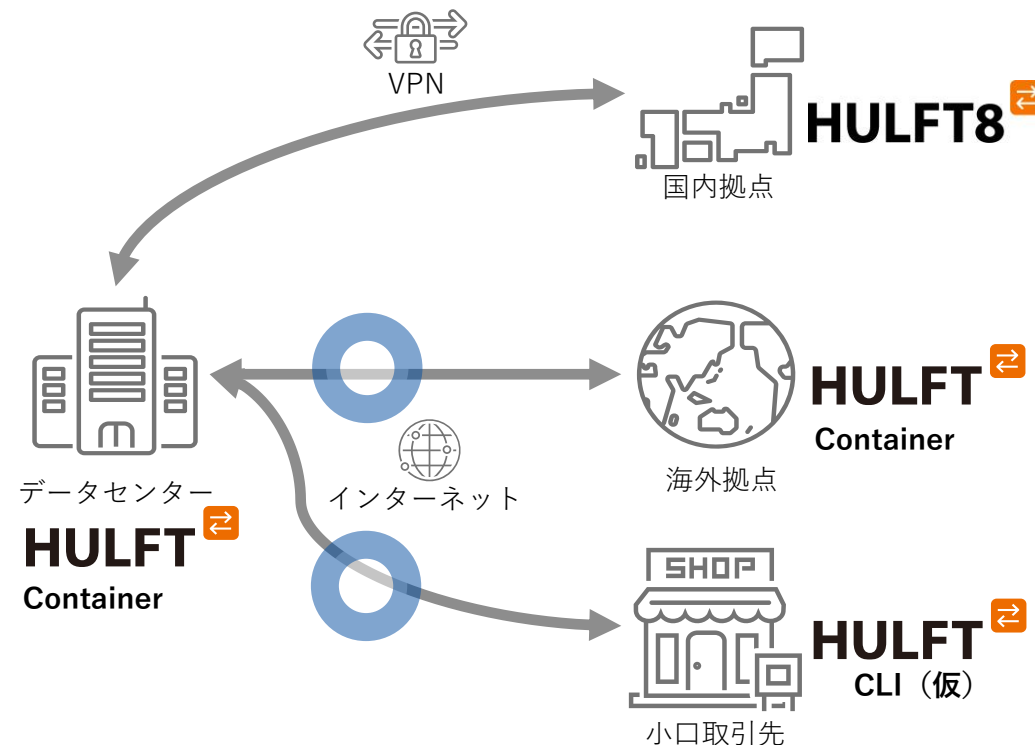
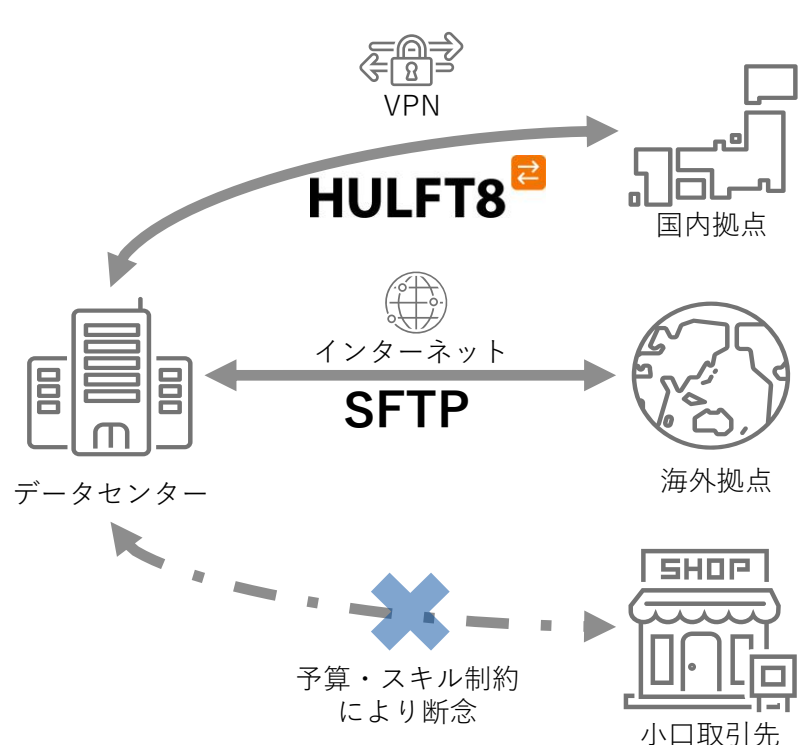
## 想定課題

- 基幹システム側に手が入れられないため、従来の仕組みでの連携か疎結合なシステム連携でないと対応できない
- 周辺システム側はクラウドネイティブな作りにしたいが、基幹システム側との連携はレガシーな仕組みを採用せざる得ず運用負荷が高い

## 想定解決策

- HULFT8とHULFT10 for Container Servicesで課題解決可能

## ②閉域／インターネットが混在する外接業務



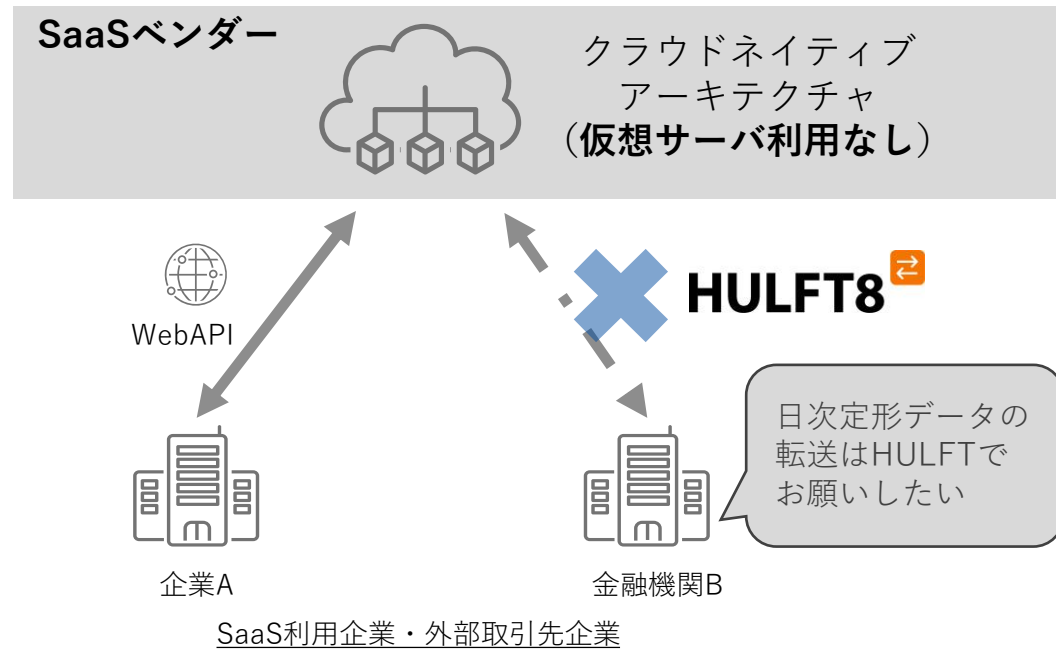
### 想定課題

- 取引先によって閉域網、インターネット通信網どちらを希望するかが異なり両方を用意する必要がある
- 閉域とインターネット通信で求められるスキル技術が異なり学習コストが高い
- IT人材はもっと優先される業務に配置されるため、複数のシステム運用するのは業務負荷に繋がっている
- 取引先がいる業務のため、システムを止めてメンテナンスする際の調整が大変

### 想定解決策

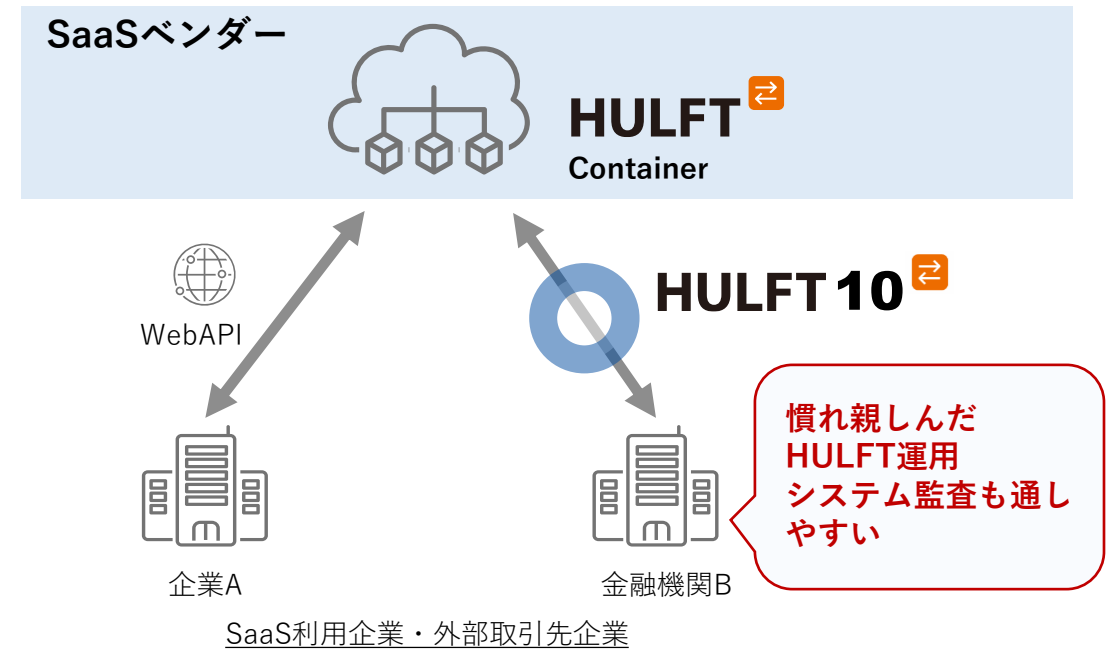
- HULFTとHULFT CLIで課題解決可能
- 通信手段を1つに集約

### ③基幹システムにあるデータを活用するSaaS



#### 想定課題

- SaaSベンダーの大手取引先や利用者からデータの転送方法としてHULFTを指定されることがある
- 自社SaaSの連携インターフェースとしてHULFTの採用が困難



#### 想定解決策

- クラウドネイティブな構成においてもHULFTの導入が可能に

# Appendix

# HULFT10環境構成について（ECS on EC2）

## ①事前準備・設定

Route53でドメインとホストゾーンの作成,IAM作成

## ②CloudFormation1

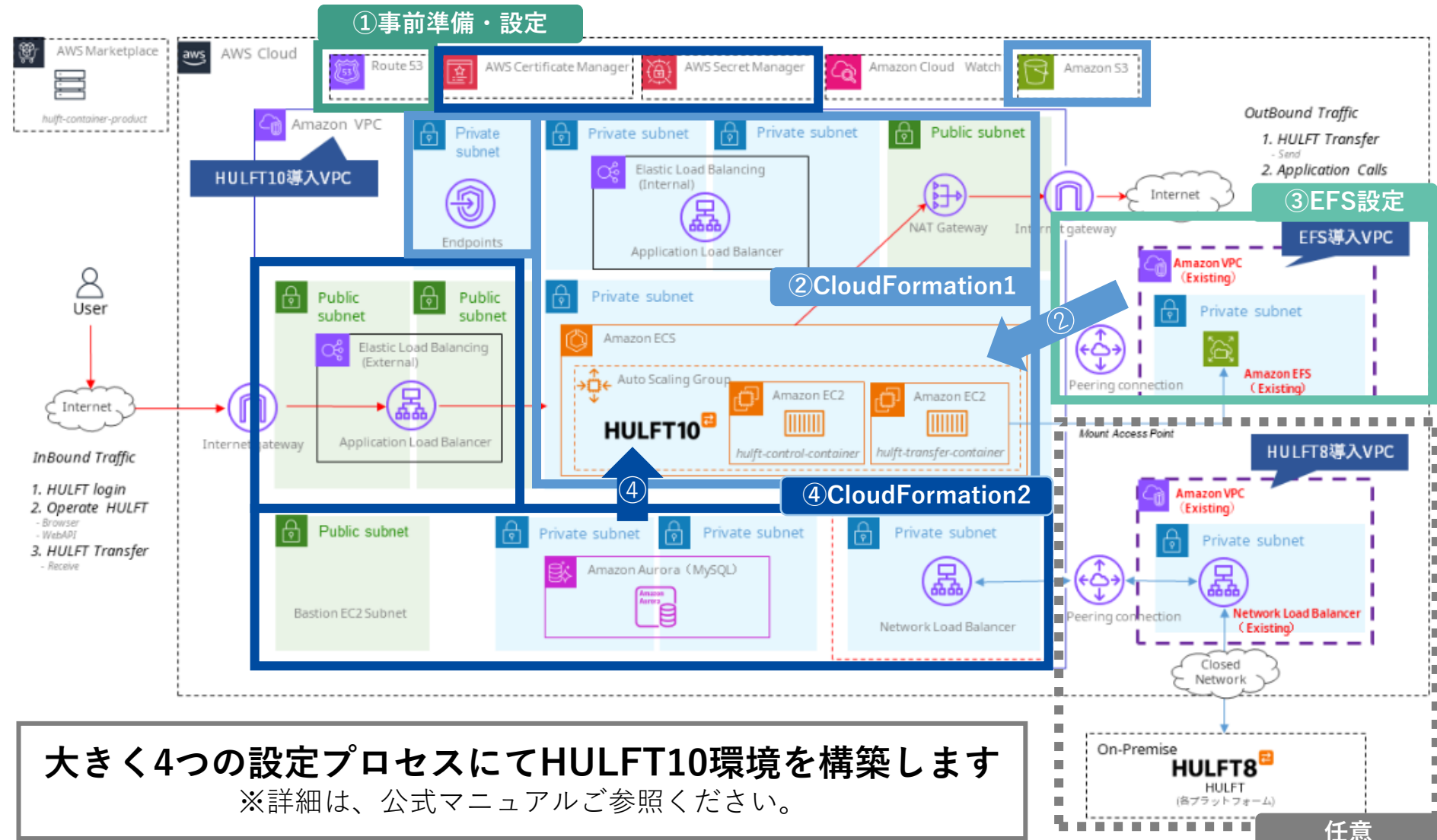
新規VPC作成、ネットワーク設定、既存VPCとPeering設定

## ③EFS導入VPC設定

ルートテーブルやセキュリティグループの設定

## ④CloudFormation2

ECS,AuroraDB,ALBをHULFT10導入VPCにデプロイ



※自動生成されるリソースの詳細は、「[HULFT10 for Container Servicesの構成](#)」をご参照ください。

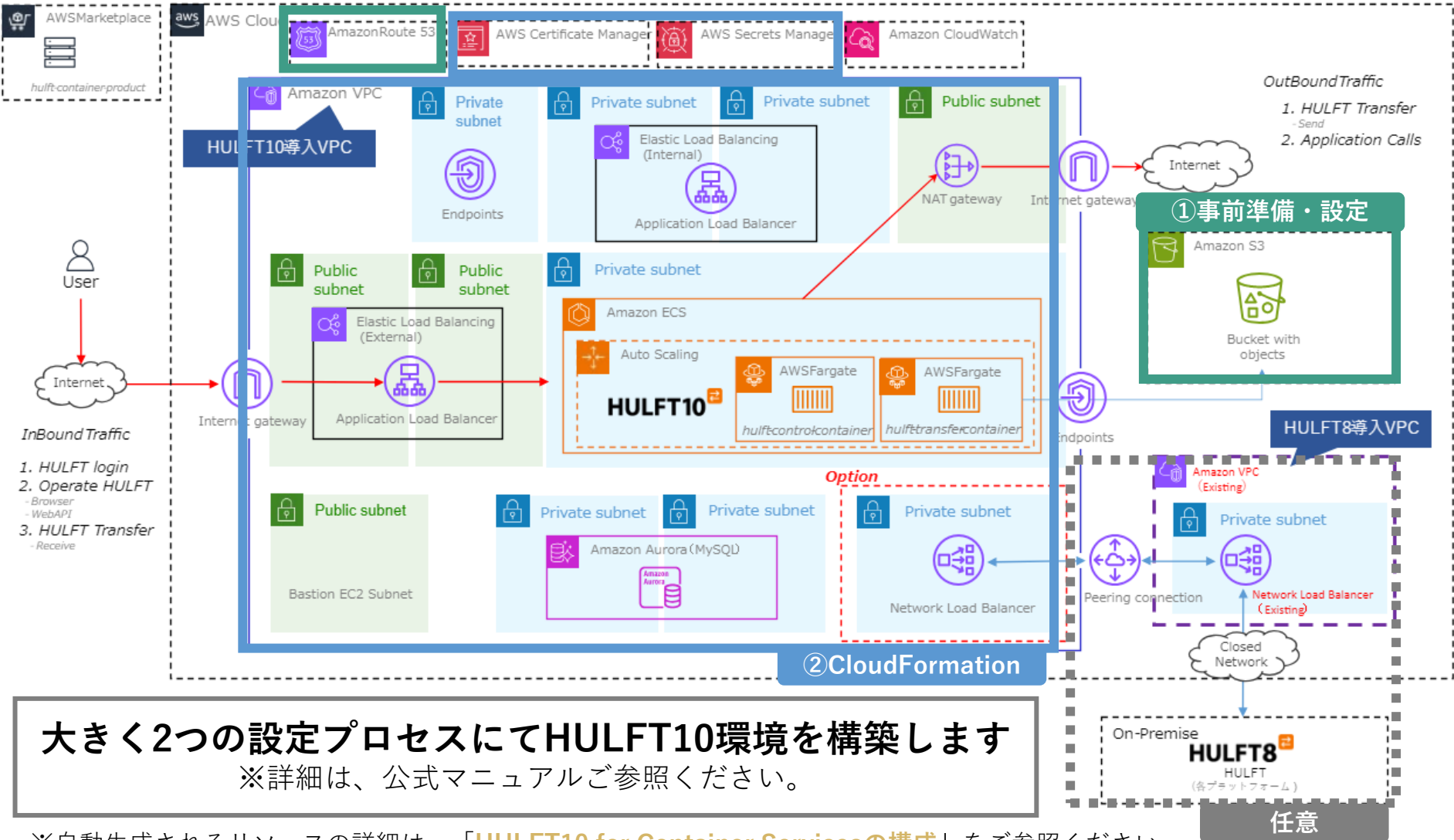
# HULFT10環境構成について (ECS on Fargate)

## ①事前準備・設定

Route53でドメインとホストゾーンの作成,A,IAM作成,バケットの作成

## ②CloudFormation

新規VPC作成、ネットワーク設定、既存VPCとPeering設定、ECS,AuroraDB,ALBをHULFT10導入VPCにデプロイ



## HULFT10 for Container Servicesの基本機能

| 機能概要 |       |            | 対応機能                                  | 対応検討機能                                             |
|------|-------|------------|---------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 1    | 配信    | 転送タイプ      | テキスト/バイナリ転送                           | フォーマット/マルチフォーマット転送                                 |
| 2    |       | 圧縮         | DEFLATE圧縮/Zstandard                   | 横圧縮/縦横圧縮                                           |
| 3    |       | その他        |                                       | シフトコードの扱い/配信多重度/間欠転送/転送優先度                         |
| 4    | 集信    | 集信形態       | 単一集信                                  | 複数集信/世代管理/CSV連携                                    |
| 5    |       | その他        |                                       | 集信多重度                                              |
| 6    | 集配信共通 | コード変換      | オープン系文字コード変換/コード変換先/<br>自ホストの転送コードセット | レガシー文字コード変換/EBCDICセット/簡体字<br>文字コード変換/タブコードの扱い/外字処理 |
| 7    |       | 電文転送タイプの選択 | 速度優先モード                               | 異常検知モード                                            |
| 8    |       | その他        |                                       | 転送テスト/HULFT7通信モード                                  |
| 9    | 運用管理  | 操作ログ       | 処理識別子、ユーザの通知                          | コマンド実行ログ/ファイルアクセスログ                                |
| 10   | コマンド  |            |                                       | 複数ファイル結合機能/複数ファイル結合機能                              |

※上記の情報は現時点のものであり、今後変更になる可能性があります。  
検討中機能は、ユーザ要望に応じて順次取り込みを予定しています。

## 各製品との通信保証・連携互換性

| 項目   | 製品                                    | HULFT10 for Container Services |
|------|---------------------------------------|--------------------------------|
| 通信保証 | HULFT10                               | 通信保証※                          |
|      | HULFT8                                | 通信保証※                          |
|      | HULFT7                                | 転送不可                           |
|      | HULFT6-SAN/HULFT6<br>VOS/HULFT2 for K | 転送不可                           |
|      | HULFT-WebConnect                      | 転送不可(対応時期未定)                   |
|      | HULFT-HUB Ver.3(転送)                   | 転送不可(対応時期未定)                   |
|      | HULFT IoT                             | 転送不可                           |
| 管理可否 | HULFT8 Manager                        | 管理不可                           |
|      | HULFT-HUB Ver.3(管理)                   |                                |
| 連携可否 | DataSpider Servista                   | 連携不可                           |
|      | DataMagic                             |                                |
|      | HULFT-WebFileTransfer                 | 連携不可                           |
|      | HDC-EDI                               |                                |

※詳細は下記をご参照ください

[【公式】HULFT10 for Container Servicesとの通信が保証されている製品一覧](#)

※UNIX/zLinux/NSK/IBMi/MSP/XSP/zOS版は、対応時期未定。

※上記の情報は現時点のものであり、今後変更になる可能性があります。

## 環境一覧（HULFT10 for Container Services）

### 対応ブラウザ

Google Chrome

Microsoft Edge

| 稼働環境                           |             | 対応 |
|--------------------------------|-------------|----|
| AWS Elastic Container Service  | Amazon EC2  | ○  |
|                                | AWS Fargate | ○  |
| AWS Elastic Kubernetes Service |             | ×  |
| AWS Lambda                     |             | ×  |
| AWS Batch                      |             | ×  |

※ 順次サポート対象の拡充を予定しています。  
また上記の情報は現時点のものであり、今後変更になる可能性があります。

# HULFT10 for Container Servicesの詳細機能（配信）

| 機能名 |                 | HULFT10 for Container Services | 他機種（※1） |
|-----|-----------------|--------------------------------|---------|
| 1   | 配信要求と再配信要求      | ○                              | ○       |
| 2   | チェックポイント再配信     | ○                              | ○       |
| 3   | 自動再配信           | ○                              | ○       |
| 4   | 同期転送と非同期転送      | ○                              | ○       |
| 5   | 同報配信            | ○                              | ○       |
| 6   | 間欠転送            | ×                              | ○       |
| 7   | 圧縮転送            | △（deflateのみ。縦横圧縮なし）            | ○       |
| 8   | 配信多重度           | ×                              | ○       |
| 9   | 優先度と配信待ち処理の設定変更 | ×                              | ○       |

※1 HULFT for Mainframe、HULFT for IBMi、HULFT for UNIX/Linux、HULFT for NSK、HULFT for Windows

# HULFT10 for Container Servicesの詳細機能（集信）

| 機能名 |             | HULFT10 for Container Services                                    | 他機種（※1） |
|-----|-------------|-------------------------------------------------------------------|---------|
| 1   | 送信要求と再送要求   | △（HULFT8からの送信要求受付可。<br>Container Servicesは送信(再送)要求機能は<br>持っていない。） | ○       |
| 2   | 集信要求と再集信要求  | ○                                                                 | 未定      |
| 3   | チェックポイント再送  | ×（HULFT8からの再送要求受付は不可）                                             | ○       |
| 4   | チェックポイント再集信 | ○                                                                 | 未定      |
| 5   | 単一集信と複数集信   | ×                                                                 | ○       |
| 6   | 世代管理        | ×                                                                 | ○       |
| 7   | 集信多重度       | ×                                                                 | ○       |
| 8   | 集信完了通知      | ○                                                                 | ○       |
| 9   | 受信可能通知      | ×                                                                 | ○       |

※1 HULFT for Mainframe、HULFT for IBMi、HULFT for UNIX/Linux、HULFT for NSK、HULFT for Windows

## HULFT10 for Container Servicesの詳細機能（配信/集信）

| 機能名 |                     | HULFT10 for Container Services | Mainframe/IBMi<br>(※1) | Linux/Windows<br>(※2) | HULFT for NSK |
|-----|---------------------|--------------------------------|------------------------|-----------------------|---------------|
| 1   | ネットワークファイルの配信および集信  | △（NFSのみ）                       | —                      | ○                     | —             |
| 2   | コード変換               | △（外字、ユーザーコードテーブルは未対応）          | ○                      | ○                     | ○             |
| 3   | データ転送方法（電文転送タイプ）の選択 | △（速度優先モードのみ）                   | ○                      | ○                     | ○             |
| 4   | キャンセル               | ○                              | ○                      | ○                     | ○             |
| 5   | 動的指定                | ○                              | ○                      | ○                     | ○             |
| 6   | 簡易転送                | ×                              | ○                      | ○                     | —             |
| 7   | WSS通信               | ○                              | 未定                     | 未定                    | 未定            |

※1 HULFT for Mainframe、HULFT for IBMi

※2 HULFT for UNIX/Linux、HULFT for Windows

# HULFT10 for Container Servicesの詳細機能（要求受付機能／システム管理機能）

## ➤ 要求受付機能

| 機能名 |                            | HULFT10 for Container Services | 他機種（※1） |
|-----|----------------------------|--------------------------------|---------|
| 1   | HULFT Managerからの接続要求に対する処理 | ×                              | ○       |

※1 HULFT for Mainframe、HULFT for IBMi、HULFT for UNIX/Linux、HULFT for NSK、HULFT for Windows

## ➤ システム管理機能

| 機能名 |                 | HULFT10 for Container Services | 他機種（※1） |
|-----|-----------------|--------------------------------|---------|
| 1   | 管理情報            | ○                              | ○       |
| 2   | 管理情報のリスト出力      | ×                              | ○       |
| 3   | システム動作環境設定      | ○                              | ○       |
| 4   | 履歴の管理           | △（要求受付履歴なし、ジョブ履歴なし、履歴の自動削除なし）  | ○       |
| 5   | 管理情報の有効期間/受付時間帯 | ○                              | 未定      |

※1 HULFT for Mainframe、HULFT for IBMi、HULFT for UNIX/Linux、HULFT for NSK、HULFT for Windows

# HULFT10 for Container Servicesの詳細機能（システム運用支援の機能）

| 機能名              | HULFT10 for Container Services | HULFT for Mainframe | HULFT for IBMi | HULFT for UNIX/Linux | HULFT for NSK | HULFT for Windows |
|------------------|--------------------------------|---------------------|----------------|----------------------|---------------|-------------------|
| 1 動作言語および日付形式の選択 | ×（日本語のみ。日付はyyyymmdd）           | ○                   | ○              | ○                    | ○             | ○                 |
| 2 メッセージ送信        | ○                              | ○                   | ○              | ○                    | ○             | ○                 |
| 3 転送変数           | ○                              | 未定                  | 未定             | 未定                   | 未定            | 未定                |
| 4 メール連携          | —                              | —                   | —              | —                    | —             | ○                 |
| 5 ジョブ起動          | ○                              | ○                   | ○              | ○                    | ○             | ○                 |
| 6 スケジューラ機能       | —                              | —                   | —              | —                    | —             | ○                 |
| 7 ジョブ実行結果通知      | ×                              | ○                   | ○              | ○                    | ○             | ○                 |
| 8 集信後ジョブ結果参照要求   | ×                              | ○                   | ○              | ○                    | ○             | ○                 |
| 9 リモートジョブ実行      | ×                              | ○                   | ○              | ○                    | ○             | ○                 |
| 10 ファイルトリガ       | ×                              | —                   | —              | ○                    | —             | ○                 |
| 11 ファイルレコード編集機能  | ×                              | —                   | —              | ○                    | ○             | ○                 |
| 12 複数ファイル結合機能    | ×                              | ○                   | ○              | ○                    | ○             | ○                 |
| 13 転送状況表示        | △（コマンドに相当するAPIがない）             | ○                   | ○              | ○                    | ○             | ○                 |
| 14 HULFT APIの提供  | ×                              | ○                   | —              | ○                    | ○             | ○                 |
| 15 Restful API   | △（HULFTAPIに変わるもの。要求発行系のみ公開）    | 未定                  | 未定             | 未定                   | 未定            | 未定                |
| 16 リモート生存監視      | △（受付可、送信は不可）                   | —                   | —              | ○                    | ○             | ○                 |
| 17 転送テスト         | ×                              | ○                   | ○              | ○                    | ○             | ○                 |
| 18 転送設定の自動最適化    | ○                              | —                   | ○              | ○                    | ○             | ○                 |
| 19 SSO           | ○                              | 未定                  | 未定             | 未定                   | 未定            | 未定                |
| 20 管理情報単位の権限付与   | ○                              | 未定                  | 未定             | 未定                   | 未定            | 未定                |
| 21 ユーザーグループ      | ○                              | 未定                  | 未定             | 未定                   | 未定            | 未定                |

## HULFT10 for Container Servicesの詳細機能（セキュリティ）

| 機能名 |                    | HULFT10 for Container Services | HULFT for NSK | 他機種(※1) |
|-----|--------------------|--------------------------------|---------------|---------|
| 1   | データ検証機能            | ○                              | ○             | ○       |
| 2   | 転送グループチェック         | ○                              | ○             | ○       |
| 3   | 操作ログの出力            | ×                              | ○             | ○       |
| 4   | 暗号化                | △（HULFT暗号、C4Sは未対応）             | ○             | ○       |
| 5   | 未登録ホストからの要求受付設定機能  | ×                              | —             | ○       |
| 6   | 登録済みホストからの要求受付設定機能 | ×                              | ○             | ○       |
| 7   | シーケンスチェック          | ○                              | 未定            | 未定      |
| 8   | ホストキー認証            | ○                              | 未定            | 未定      |

※1 HULFT for Mainframe、HULFT for IBMi、HULFT for UNIX/Linux、HULFT for Windows

# HULFT10 for Container Servicesの詳細機能（その他の機能）

| 機能名 |                    | HULFT10 for Container Services | HULFT for UNIX/Linux | HULFT for Windows | 他機種(※1) |
|-----|--------------------|--------------------------------|----------------------|-------------------|---------|
| 1   | システム動作環境設定の問い合わせ機能 | ×                              | ○                    | —                 | —       |
| 2   | システム動作環境設定の再設定機能   | ×                              | ○                    | —                 | —       |
| 3   | HULFT8 Script      | ×                              | ○                    | ○                 | —       |

※1 HULFT for Mainframe、HULFT for IBMi、HULFT for NSK



< 免責条項 >

本資料の内容は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されているものであり、今後予告なしに変更されることがあります。よって本資料使用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願いいたします。

なお、本資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。